

セグメント別の概況

運輸業

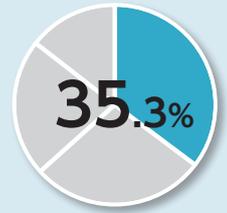


当社鉄道事業において、緊急事態宣言による外出自粛等の影響を受けたものの、輸送人員は定期が+5.3%、定期外が+29.2%と、それぞれ前年同期を上回ったことなどから、増収・増益となりました。

営業収益
62,749百万円
(前年同期比 17.3%増)

営業利益または営業損失(△)
△2,945百万円
(前年同期 △15,361百万円)

売上高構成比



流通業

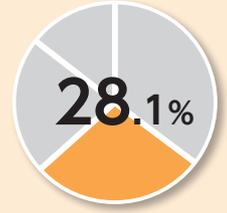


百貨店業において、昨年4月に発出された緊急事態宣言に伴う臨時休業の反動や、ストア・小売業において駅構内コンビニエンスストアの利用者数の回復がみられたものの、会計方針変更の影響により減収となりました。一方、営業利益は会計方針変更による影響を受けていないため、増益となりました。

営業収益
49,747百万円
(前年同期比 29.6%減)

営業利益または営業損失(△)
108百万円
(前年同期 △1,619百万円)

売上高構成比



不動産業



不動産分譲業において、土地やマンションの販売が好調であったことに加え、不動産賃貸業において、昨年4月に発出された緊急事態宣言下での一部商業施設の臨時休業に伴う賃料減免の反動等により増収・増益となりました。

営業収益
42,346百万円
(前年同期比 54.8%増)

営業利益または営業損失(△)
11,364百万円
(前年同期比 84.8%増)

売上高構成比



その他の事業

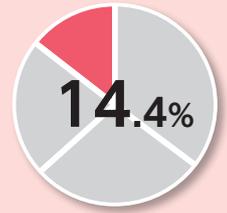


緊急事態宣言による外出自粛等の影響を受けたものの、ホテル業において、シティホテルの稼働が前年同期に比べ回復傾向にあったことや、レストラン飲食業において利用者数が回復したことなどにより増収・増益となりました。

営業収益
33,161百万円
(前年同期比 11.7%増)

営業利益または営業損失(△)
△5,741百万円
(前年同期 △8,386百万円)

売上高構成比



9月1日 ウェイストマネジメント事業「WOOMS (ウームス)」を始動

当社は、「ごみ」のない世界へ。Beyond Waste」を事業ビジョンとするウェイストマネジメント事業「WOOMS」を始動いたしました。本事業では、テクノロジーを活用して廃棄物収集業務の効率化を支援する「収集・排出サポート」と、効率化による余力を活用して資源循環を高める「資源循環サポート」を、自治体や事業者へ順次提供してまいります。

詳しくはWebで!

Beyond Waste WOOMS



9月21日 MaaSアプリ「EMot (エモット)」での特急券販売および10月1日「EMotオンラインチケット」サービスを開始

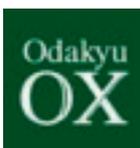
当社は、MaaSアプリ「EMot」での特急券販売を開始したほか、デジタルチケット購入サイト「EMotオンラインチケット」サービスを開始いたしました。同サービスでは、「EMot」にて販売中の「デジタル箱根フリーパス」のほか、箱根の観光シーンにあわせてご利用いただける便利な10種類のデジタルチケットを新たに造成し、順次発売いたします。

EMotの詳細はWebで!



8月18日 スーパーマーケットOdakyu OX全店にて「セブンプレミアム」の販売を開始

小田急商事(株)は、Odakyu OX全28店ならびにOdakyu OX MART新百合ヶ丘店にて、(株)セブン&アイ・ホールディングスのプライベートブランド「セブンプレミアム」の販売を開始いたしました。「セブンプレミアム」の導入によって、品揃えと商品力の強化を図り、より一層地域のお客さまに満足していただける店づくりを推進してまいります。



10月1日 武蔵野市桜堤に複合施設「hocco (ホッコ)」が完成

小田急バス(株)は、東京都武蔵野市内の「桜堤折返場」を開発し、「暮らしの「町あい所」」をコンセプトとする新たな複合施設「hocco」を開業いたしました。「hocco」は、店舗兼住居を核に、シェアカーやシェアサイクルを有する地域コミュニティとモビリティの拠点としてバス沿線地域の活性化を目指すものです。

詳しくはWebで!

